

道博協ニュース

第15号

発行 昭和61年11月20日
 発行所 北海道博物館協会(事務局)
 札幌市白石区厚別町小野幌
 北海道開拓記念館内
 電011-(898)-0456

事務局

北海道開拓記念館に

移転

昭和六十年年度総会(七月十日、白老町)で会長から報告のあった事務局移転の件は、その後北海道開拓記念館への移転が決定し、九月十日に事務引継が終了した。組織は次のとおりである。

事務局長 関 秀志
 次 長 山田 健
 庶務担当 三野紀雄
 事業担当 中田幹雄

第三十三回

全国博物館大会開催

今年度の全国大会は十一月五・六日、熱海市のMOA美術館で開催され、北海道からは十一名が参加した。テーマは去年に引続き「教育改革と博物館」で、シンポジウムの後、三分科会にわかれて問題提起と協議が行なわれた。三分科会ともはば次の事項

がとり挙げられた。

- 博物館と学校教育
- 生涯教育と博物館
- 今後の館運営の諸問題
- ボランティア活動
- 地域社会との連携
- 学芸員の養成と資質向上

最後の全体会議では、臨時教育審議会および国、関係機関に対し、「生涯教育における博物館活動の重要性を正しく位置づける」ことなど五項目にわたる要望が決議された。なお、昭和六十年顕彰者のうち、北海道関係分は次のとおりである。

- 規定第一号 中村喬・関 秀志・西幸隆・大西正 男・佐藤一夫
- 同 第二号 北川芳男
- 同 第四号 日本電信電話株・株釧路振興公社

第二十五回

全道大会の準備スタート

昭和六十一年度の全道博物館大会は北見市での開催が決定しているが、十一月十三日、

同市教育委員会社会教育部長河田章氏、北網圏北見文化センター館長平井正史氏が開拓記念館に來られ、会期、会場、施設見学、記念講演、分科会、テーマ、予算、宿泊、準備日程などについて最初の打合せがなされた。今後、地元の都合、意向を尊重しながら、役員会等に因って準備をすすめる予定である。

学芸職員研修会

開催迫る

学芸職員部会主催の昭和六十年年度学芸職員研修会は去る十一月三日にオープン(一日落成)した苫小牧市博物館で十二月五日(木)に開催される。総会のはか、同館学芸員吉田国吉・工藤肇・藤原康成の三氏を講師として同館の展示および資料の分類・整理・保管等に関する講義が行なわれ、さらに同館の展示と保存の実際に関する実地研修、同館建設の理念と実践をテーマとして全体会議、懇親会等が予定されている。部会事務局

では部会員以外の参加も歓迎している。申し込み先は部会事務局(斜里町立知床博物館内、担当金盛典夫)。

館・園動向

- 小樽市博物館 市内色内二丁目一―二〇に移転・開館(九月三日)
- 網走市立郷土博物館 臨時休館(十月一日〜十二月三十日)
- 道北地方(上川・宗谷・留萌支庁管内)博物館連絡協議会発足(十月二十日)
- 会長・市立旭川郷土博物館長、事務局長・其田良雄)
- 苫小牧市博物館 市内末広町三丁目九―七に開館(十一月三日)

トピックス

臨時教育審議会の

札幌公聴会

本年六月、臨教審は第一次答申を政府に提出したが、答

申後、最初の地方公聴会が八月二十一日、札幌で開催された。当日は、意見陳述者のほか、傍聴者にも発言の機会が与えられたので、参加の各団体から多くの要望が出されたが、委員側は、ただお聞きします、ということだけで一方交通的なものであった。博物館などの社会教育の問題は第二部会で審議されるが、具体的にはまだ全く討議されていないようである。博物館の重要性については意見を出しておいたが、いろいろな機会を通して審議会への要望を出し、審議の過程を注意深く見守っていくべきであると感じた。

(北川芳男)

◆旧冷泉家資料

京都に、里帰り、

当別伊達記念館には京都の公卿冷泉家十三代、為綱(一六六四〜一七二二)の息女が仙台藩岩出山の領主伊達家の第四代村泰に嫁入りした際に持参した婚礼衣装が収蔵・展示されている。去る十月、こ

の衣装と旧伊達家資料一六点が、京都の吉祥文様衣装研究会と呉服問屋近江屋が開催した展示会で公開され、注目を集めた。

新会員の紹介

仙台藩元陣屋資料館(白老

郡白老町陣屋町六八一

一四)

広尾町海洋博物館(広尾郡

広尾町字野塚九八九)

札幌市資料館(札幌市中央

区大通西十三丁目)

佐々木浩(札幌市南区澄川

四条九丁目七一一四)

三浦龍一(札幌市南区澄川

五条三丁目八一三六)

事務局日誌

9・10 事務局事務引き継

ぎ(中川会長、北川副会

長、前担当者矢野理事、

中村学芸部長、新事務局

長関、局員中田・三野)

10・11 日博協より昭和六

〇年度顕彰者決定通知あ

り。関係館長に連絡。

10・18 事務局会議開催(

北川副会長、局員全員、

事務分担、当面の事務処

理、今後の活動等につい

て協議)

10・25/30 「北海道の博

物館等施設調査報告書」

(道内市町村教委宛二二

二冊)、第二三回およ

び第二四回「北海道博

物館大報告書」(会員

宛一四一冊×二)発送

10・29 会長北海道社会教

育協会評議員会に出席

11・3 会長に事務局移転

後の事務処理経過報告

11・9 道社会教育協会へ

「北海道博物館協会現況

等」報告

11・12 道教委社会教育課

総務係に道博協補助金予

算要求資料提出。

11・13 北見市教委社教部

長河田章氏、北網圏北見

文化センター館長平井正

史氏来訪。第25回大会(

昭和61年度)開催につい

て協議

11・17 ニュース第15号編

集

【編集後記】

▼ニュース第十五号をお届けします。
▼事務局が交替しました。局員一同意欲的に事務を処理しようと思っておりますが、不慣れですので、会員諸氏の御協力をお願いいたします。
▼今後、本紙には道内外の館

園・道博協の動向のほか、トビックス、会員の意見等を載せ、内容の充実をはかってゆきたいと思っております。情報を提供下さるようお願いします。
▼次号は昭和六十一年三月にお届けする予定です。

道博協沿革メモ ①

◆過去十年間の大会テーマと開催地

年度	回数	テーマ(開催地)
昭和51	15	現況下における博物館活動はいかにあるべきか(斜里町)
52	16	地域住民と博物館のかかわり(清水町)
53	17	北海道における望ましい博物館・園のあり方をめざして(富良野市)
54	18	地方の時代における博物館・園のあり方をさぐる(札幌市)
55	19	地域の文化振興と博物館・園のかかわり(浦河町)
56	20	北海道博物館協会の新しい役割をさぐる(網走市)
57	21	館・園活動と協力団体とのかかわりをさぐる(士別市)
58	22	豊かな街づくりと博物館・園のかかわり(岩内町)
59	23	北の風土にねざした館・園づくり(釧路市)
60	24	地域の振興と博物館・園の役割(白老町)